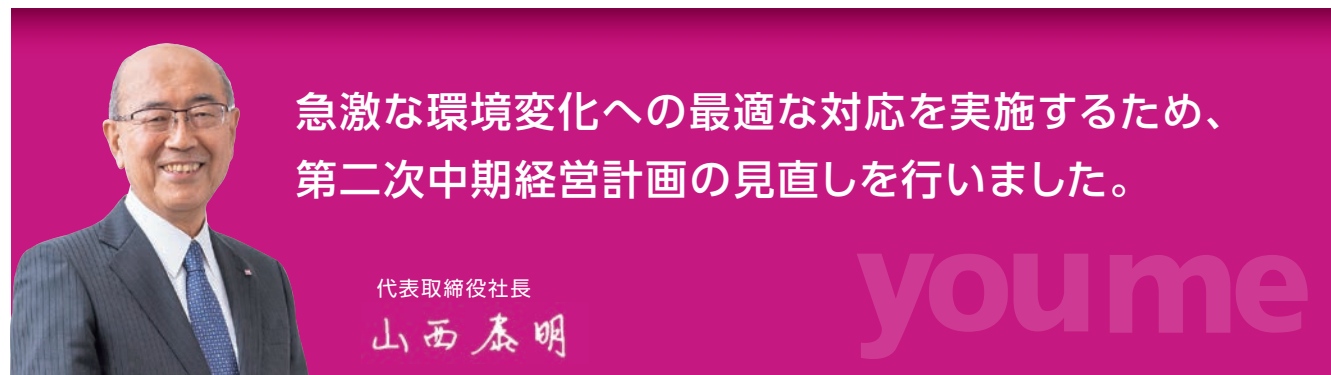


第63期 第2四半期 報告書

2023年3月1日▶2023年8月31日





急激な環境変化への最適な対応を実施するため、
第二次中期経営計画の見直しを行いました。

代表取締役社長
山西 春明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期は、新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い社会・経済活動の正常化が一段と進み、対面型サービス消費やオケーション需要の本格的な回復がみられました。一方、再び円安基調が強まるなど企業業績を圧迫するとともに、生活必需品の値上げは高水準で継続しており、小売業界の動向は依然として見通しにくい状況が継続しています。

当社グループにおいては、これまで2021年4月策定の第二次中期経営計画に基づき戦略を推進してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化や、エネルギーコストの高騰、消費者物価の急上昇は想定を大きく上回っており、急激な環境変化への最適な対応を実施するため、戦略および計画数値の見直しを行い、2023年4月11日付にて公表しました。

新たな成長戦略では、出店計画を絞り込み、既存店活性化投資とM&A・アライアンスによる新たな事業領域の拡大へと振り向ける投資配分の変更を行うとともに、これらにスピーディーに対応するための組織体制強化を図ることで、2030年長期ビジョン実現への推進力を高めました。

主力の小売事業においては、お客さま個々の消費行動の変化に対応した品揃え・サービス提供態勢に大きく舵を切って事業を推進しました。二極化する消費嗜好に対応するため、高付加価値の商品・サービス提供に努めるとともに、値ごろ感を重視した品揃えを強化しました。

商品面では、お客さまの多様なニーズに対応しながら付加価値を高めていくため、惣菜・生鮮加工品の自社製造ブランド

「zehi(ぜひ)」に新たな4シリーズを誕生させ、食分野の充実を図りました。また、株式会社アダストリアと協業し昨年立ち上げた衣料品のオリジナルブランド「SHUCA(シュカ)」では、30代～40代の女性をターゲットにした商品に加え、9月末からメンズ向け商品の販売を開始しました。

店舗面では、6月に「ゆめテラス祇園」2階食品館を先行オープン、7月に「ゆめタウン飯塚」をオープンしました。一方、既存店では大規模リニューアルを実施しました。4月には「ゆめタウン八代」において、有力テナントの導入を図るとともに食分野の店舗競争力を高めました。同じく4月に「ゆめタウン行橋」において、株式会社アダストリアと協業し、ライフスタイルブランド「studio CLIP」のフランチャイズ第1号店となる「studio CLIP ゆめタウン行橋店」を開業。ライフスタイル分野の改革をさらに一歩前に進めました。

小売周辺事業においては、小売事業の販売が好調に推移したことに伴い、電子マネー「ゆめか」及びクレジットカードのグループ小売事業店舗や外部加盟店での取扱高が拡大しました。これらの推進により電子マネー「ゆめか」の累計発行枚数は前期末の974万枚から当第2四半期末では1,003万枚となり、基盤をより強固にしました。

当社グループでは、お客様満足を実現するとともに、地域ドミナントのさらなる拡大・深耕を図っていくことで、経営効率を高め、より一層の企業成長に繋げてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

進化し、深化する「youme」を。
地域になくなくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

営業収益

2,333 億円	前年同期比 104.1%
----------	-----------------

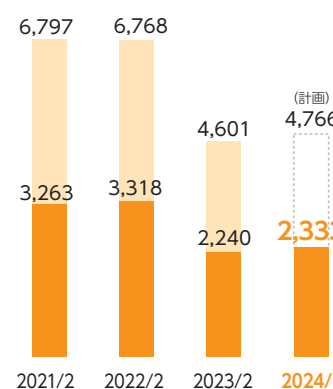
経常利益

158.1 億円	前年同期比 99.4%
----------	----------------

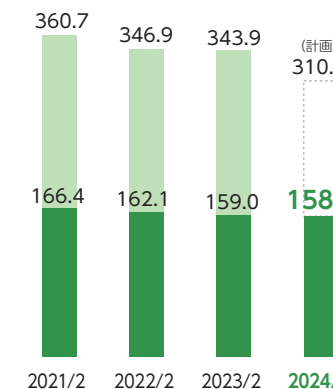
親会社株主に帰属する四半期純利益

104.6 億円	前年同期比 98.4%
----------	----------------

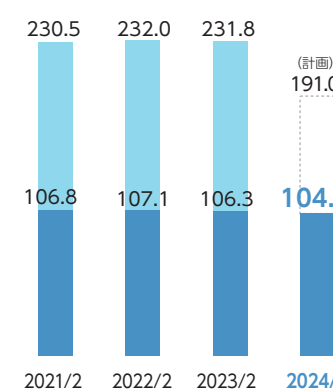
(単位：億円)



(単位：億円)

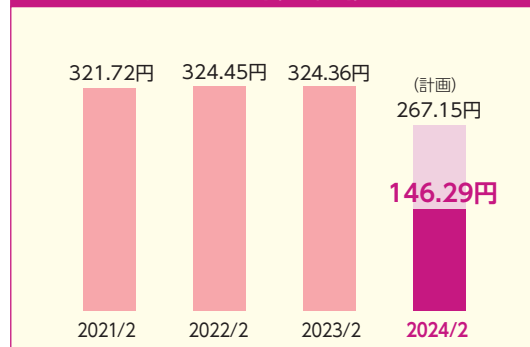


(単位：億円)

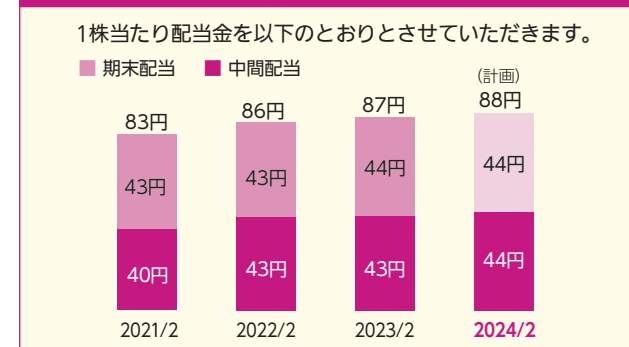


(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2023年2月期から適用しています。
なお、当該会計基準等を適用する前の数値に組替えた営業収益は3,578億円(前年同期比105.3%)です。

1株当たり当期(四半期)純利益



1株当たり配当金



店舗戦略 進化し、深化する「youme」を

地域とともに、お客さまのご要望に合わせて、 多様な業態の店舗づくりを加速していきます。

ゆめ(youme)あふれる地域との共創への挑戦を掲げ、
それぞれの地域で、さまざまな業態の店舗戦略を展開しています。
ここでは各地の店舗情報や地域貢献の最新トピックスをご紹介します。



ゆめタウン飯塚

福岡県飯塚市

2023年7月29日
グランドオープン!

地域のMIRAIが生まれる交流拠点

7月29日、福岡県飯塚市に「ゆめタウン飯塚」をグランドオープンしました。施設コンセプトは「待ち遠しいMIRAIを創ろう」。「MIRAIを体感」「地元交流を体感」「健幸を体感」「魅力を体感」という4つの柱を基に、地域の人々が交流する開放的で明るい吹き抜けや、フロア特性に合わせたユニバーサルデザインなどを導入。さらに筑豊最大級のフードコートや飯塚市初のシネコンなども整備し、新たな出会いと体験、地域のMIRAIが生まれる交流拠点として人気を集めています。



地元の子どもたちと作ったロックガーデン

店舗概要 ・敷地面積 / 約55,200㎡ ・延床面積 / 約88,500㎡
・店舗面積 / 約30,500㎡ ・駐車台数 / 約2,200台

地元交流を体感 人と人をつなぐ交流拠点



小学生向け経済学習体験

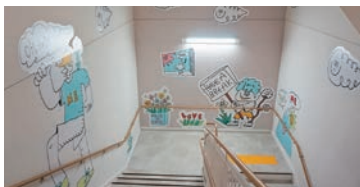
飯塚市と連携し、小学生向けの体験学習「スチューデント・シティ」を実施。お子さんたちがお金や仕事について学んでいます。



小学生が回収したキャップで再生ツール

近隣の小学校のご協力で、ペットボトルのキャップを回収し、ツールを作成。店内に設置しています。

健幸を体感 健康的なライフスタイル提案



雨の日も運動 ウォーキングコース

施設内に整備したウォーキングコースを、地元イラストレーターとの絵でにぎやかに演出。天候に関係なく、楽しく運動できます。



人工芝公園でリラックス

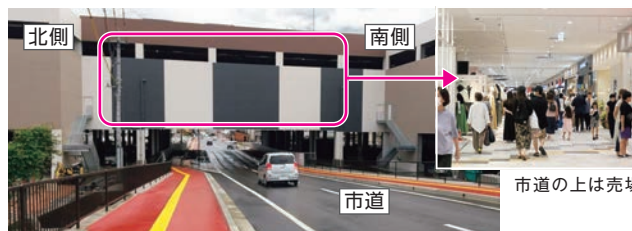
敷地内に人工芝公園を設置。自然の中で太陽光や風を感じて、ゆっくりと憩いの時間を過ごしていただけます。

魅力を体感 地域になかった魅力をお届け



“飯塚最大”の食品売場

地元産の新鮮野菜など、地域の「食」を豊富に品ぞろえ。福岡の郷土料理「かしわめし」はzehiブランドで展開します。飯塚市内で養殖された生サーモンは注目商品です。



行政との連携で実現「ロードイン設計」

1階の店舗中央を市道が貫く構造。市道上空の2階フロアは、買い回りしやすいサーキットモールです。

MIRAIを体感 次世代の最新エンタメ満載



飯塚市初のシネコン IMAXで感動体験

飯塚市民待望のシネコンが登場。全9スクリーン、1,247席の「シネマサンシャイン」では、九州で3番目となるIMAXレーザーで超高解像度映像が堪能できます。

ゆめテラス祇園

広島市安佐南区

2023年11月1日
グランドオープン!
6月に食品館先行オープン



新しく生まれ変わった『ゆめテラス祇園』は、「日々の豊かさ、憩い、集い」を生みだせる地域の人々にとって誇らしい場所をコンセプトに、専門店や行政・地域の方々と連携しながら、毎日の暮らしを支え、利便性を重視し、地域とのつながりを大切に作る店舗を目指します。

店舗概要 ・敷地面積 / 約14,500㎡

ゆめマート新大村

長崎県大村市

2024年春
オープン予定



5月30日、長崎県大村市でゆめマート新大村の起工式が執り行われ、2024年春の開業に向けて建設工事が始まりました。ゆめマート新大村は、「サクラミライ 新大村」*を中心とした大村市の皆さまの暮らしを支える商業施設として期待されています。

*「サクラミライ 新大村」は西九州新幹線 新大村駅前に整備中の複合施設です。

店舗概要 ・敷地面積 / 約7,570㎡

ゆめモール合志辻久保(仮称)

熊本県合志市

2024年春
オープン予定



10月6日、熊本県合志市に建設予定のゆめモール合志辻久保の起工式を執り行いました。当施設は熊本県内でのゆめモール1号店。「通う場所」×「出会う場所」×「憩う場所」をキーワードに、地域の生活拠点として、2024年春オープンを目指します。

店舗概要 ・敷地面積 / 約24,900㎡

ゆめタウン八代 熊本県八代市

2023年4月21日
リニューアルオープン!

ストップ・ザ・熊本! 人気の専門店を加えてリニューアルオープン

4月21日、ゆめタウン八代が新しく生まれ変わってリニューアルオープンしました。「GU」や「GLOBAL WORK Smile Seed Store」を新たに追加、広域集客力のアップや新規顧客創造に繋がっています。また直営のレイアウトも見直し、レジの効率化アップや買い回りのしやすい売り場になりました。



ゆめマート八本松 広島県東広島市

2023年9月9日
リニューアルオープン!

「若返り」によって新しいお客さまを集客

9月9日、外観・内観を刷新してリニューアルオープンしたゆめマート八本松。周辺エリアは企業数が多く、人口が増えていることから、子育て世代やヤングファミリー層のニーズに合わせて、オーガニック商材や即食商品・惣菜などを拡大したほか、食品売場内に生活雑貨を配置。築27年と開業から年月を経た店舗が、現代のお客さまに愛されるお店に若返りました。



ゆめタウン夢彩都 長崎県長崎市

2023年10月13日
リニューアルオープン!

もっと楽しく、もっと素敵に ゆめタウン夢彩都史上最大の大規模リニューアル

オープンから23年目を迎えるゆめタウン夢彩都が10月13日、昨年秋からの順次改装を終え、三世代がもっと楽しめるショッピングセンターに生まれ変わりました。中でも改装オープンした「ユニクロ」は長崎県内最大級、最新大型店として注目を集めています。その他の専門店も16店舗が移動・改装。「ACT-1」など4店舗が新たに仲間入りしました。



LECT 広島市西区

2023年11月23日
リニューアルオープン!

ファミリー層にアピールする5店舗が新規出店

7月20日、LECTのフードコートやレストラン街がリニューアルオープンしました。中国地方初出店の「野菜日和じげもんちゃんぽん」「サラダボウル パイ ゴクゴク」、広島市初出店の「辛麺屋樹元」など、5店舗が新規出店。「100時間カレー SELECT」にはLECT限定メニューが登場しました。さらに11月23日には「プラグス マーケット」、中四国初出店の「GiGO リトルプラネット」がオープンします。



次世代型テーマパーク「リトルプラネット」



話題の新店が登場し、魅力が増したフードコート

ゆめタウン山口 山口県山口市

8店舗目のFC店 お客さまの要望にお応えして3COINS導入!

新しく仲間入りした山口県最大級の3COINS+plus。お客さまからの多数の要望があり、5月25日にオープンしました。また、ビューティー売場の拡大、ゆめのパン屋さん導入でミレニアル層、若いお子様連れのファミリー層が増え、新しい需要創造に繋がっています。山口店はスマートシティの中核として、地域と共に成長し続ける店舗を目指します。



ゆめタウン五日市 広島市佐伯区

イズミのS&B第二弾 広島県に2店舗目のゆめモール誕生!

ゆめタウン五日市はこの度、建て替え工事を行います。「リビング館」は11月19日、衣料品・服飾雑貨・靴や専門店を展開する「本館2・3階フロア」(一部専門店を除く)は2024年1月21日をもって営業を終了いたします。今後は、改修や解体、新店舗工事を経て、2024年の開業を目指して新しい商業施設に生まれ変わる予定です。



地域行政と包括協定を締結

■2023年4月以降の包括協定一覧(2023年9月30日時点)

4月14日	筑後市	地域活性化包括連携協定
4月19日	宇部市	包括的連携協定
5月26日	中津市	包括連携協定
6月28日	大牟田市	地域活性化包括連携協定
8月 4日	益田市	地域活性化包括連携協定
9月13日	荒尾市	地域活性化包括連携協定

子育て支援センターゆめタウン宇部に開設

5月25日、宇部市との包括的連携協定に基づき、ゆめタウン宇部に「宇部市子育て支援センターゆめタウンうべ」がオープンしました。子育て世代の不安軽減を目的に、主に3歳未満のお子さまと保護者の皆さまを対象にした情報交換・育児相談の場として充実を図っていきます。



篠崎宇部市長と地域の皆さま、イズミ関係者が参加

「zehi」に、新たな4つのシリーズ誕生！

メニューの企画から、製造、販売まで、すべて自社で行う、惣菜のオリジナルブランド「zehi」。このたび、誕生から1周年を記念し、新たな4つのシリーズを加え、さらに魅力的で楽しい売場・商品をご提供するとともに、上質志向・健康志向などお客さまの多様なニーズにお応えします。また、「zehi」の売上の一部をこども食堂支援のために寄付する取り組みなど、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

zehi premium (プレミアム)

最上級クラスの商品群。より厳選された高付加価値のある「おいしさ」を実現しています。



噂のコロッケ

zehi season (シーズン)

期間限定の「おいしさ」を追求した商品群。四季がくれる旬の美味をご堪能いただけます。



熊本産 天然芝海老と枝豆のふっくら搔き揚げ

zehi balance (バランス)

健康志向のお客さまにお届けする商品群。毎日のお食事を、栄養面、健康面でバランスよくサポートします。



1/3日分の中華丼

zehi trend (トレンド)

いま話題のもの、流行っているものを zehi 流にアレンジした商品群。「新しいおいしさ」をお届けします。



韓国風キンパ巻

このまちの味になる。 youmeのDELI zehi

「zehi」の売上の一部を寄付しました。

計247万円をイズミグループ出店地域で子ども食堂の運営を支援する14団体に寄付しました。このうち2団体を6月16日、イズミ本社にお招きし贈呈式を行いました。子どもたちの未来のために、今後も支援活動を続けていきます。



イズミ本社で行った寄付金贈呈式

(左) 認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ 山下さま
(中) 当社デリカ本部 阿部本部長
(右) NPO法人 広島こども食堂支援センター 越智理事長

「Wolt」デリバリーサービス、2店舗で開始！

4月12日から「ゆめマートサンモール」、4月26日から「ユアーズ楠木店」で、Wolt Japan(株)が展開する「Wolt」デリバリーサービスを開始しました。食料品や日用品など約3,500~4,000品目をご注文から30分程度でお届けするスピード感が好評で、約2カ月間で約1,000名さまにご利用いただきました。今後、取り扱い商品や導入店舗を増やす予定です。

ゆめマートサンモール土本店长(左)と配達の担当者



イズミが取り組むサステナビリティ — お客さま、地域、テナントさま、社員とともに —

希望あふれる「持続可能な未来」の実現に向けて、イズミはさまざまな活動を行っています。

■ 「傘買い替え」キャンペーン

限りある資源を有効活用して未来につなげるため、6月1日から6月21日まで「傘買い替えキャンペーン」を実施しました。

雨傘や日傘など、対象の傘1点お買上げで、ご不要な傘を1点お引取りし、回収特典としてお買上げの傘1点につき10%割引としました。回収した不要傘は、株式会社JEPLANと連携して、リサイクルやアップサイクルに活用します。



■ 「ボトル to ボトル」の水平リサイクル拡大

2022年より、店頭で使用済みペットボトルを回収し、新しいペットボトルに再生する「ボトル to ボトル」の水平リサイクルに取り組んでいます。今後も、店頭での回収機をより多くの店舗に設置することで、資源の有効活用の輪をさらに広げていきます。

◎設置店舗数22店舗(2023年8月末現在)



ペットボトル・アルミ缶回収機

資源循環イメージ

■ 制服を「買い物かごバッグ」に再生

イズミでは、不要になった制服を資源として有効活用しています。3年目となる本年は、ゆめタウン・ゆめマートで使用いただけるよう、店内の買い物かごの大きさに合わせて制作。「ら・ら・ら キャンペーン」の景品に採用し、多くのお客さまにご応募いただき、好評を得ました。

制服をリサイクルしたエコバッグ



買い物かごにセットすると荷詰めの手間が省けます

■ 「0円 服の交換会」広島県で初開催

4月8日・9日、広島県で初の開催となる「0円 服の交換会」を、広島市西区のLECTで開催しました。これは、捨てるにはもったいない服をお客さまにご持参いただき、イベント会場で、他の方がお持ちになった服と交換できるサステナブルな取り組みです。2日間で約500人のお客さまにご参加いただき、資源循環の輪が広がりました。



交換用の服が並ぶ会場の様子

2050年までに目指す姿 youme MIRAI Action 2022年度実績

▶ 店舗運営に伴うCO₂排出量

2030年目標 → 2050年目標
50%削減 → 排出実質ゼロ

2022年度実績
24.3%削減
※目標・実績は2013年度比

▶ プラスチック製レジ袋使用量

2030年目標 → 2050年目標
80%削減 → 100%削減

2022年度実績
70.1%削減
※目標・実績は2018年度比

▶ 食品ロス発生量

2030年目標 → 2050年目標
50%削減 → 80%削減

2022年度実績
63.6%削減
※目標・実績は2018年度比

▶ 食品廃棄物のリサイクル率

2030年目標 → 2050年目標
70% → 100%

2022年度実績
40.8%

ともに「夢」を育てるイズミグループ

株式会社 ゆめマート北九州 × 株式会社 イズミテクノ

2023年4月14日
ゆめマート豊前 活性化オープン



4月ゆめマート豊前が9年ぶりにリニューアルオープンしました。大分県との県境、郊外に位置する店舗で近隣には工業団地が並ぶエリアです。この度のリニューアルで直営売場を拡大し、ゆめマート北九州として初めてデジタルサイネージを導入しました。リニューアルの際にはイズミグループの一員である株式会社イズミテクノも店舗デザインをはじめ設計・施工を通じて店舗作りにも協力しました。これからもグループ一丸となって幅広い年代層へのニーズに応え、安全・安心を提供する地域1番のSMを目指します。

イズミ・フード・サービス 株式会社

4店舗新規オープンの他、
地域イベントにも参加しました

3月ゆめタウン三豊に「焼肉丼 炙り一番」を、7月ゆめタウン大竹に「明石玉子焼き専門店・たこ一番」を出店。さらに、ゆめタウン飯塚にも「パスタピザ」「大阪王将」を出店いたしました。また、6月10日・11日に広島市で開催された「ひろしまフラワーフェスティバル」に「お好み一番地」が初出店しました。ボリュームたっぷりの焼きそばを2日間で1,200パック販売する盛況となりました。今後も地域のお客さまに喜んでいただけるよう努めます。



ゆめタウン大竹「明石玉子焼き専門店・たこ一番」



ゆめタウン飯塚「PASTA to PIZZA(パスタピザ)」



2023ひろしまフラワーフェスティバル

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求していきます。
各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けいたします。

株式会社 ユアーズ

アバンセekie広島駅店 増床リニューアルオープン

4月に広島駅2階の「アバンセekie広島駅店」が10坪増床し、リニューアルオープンしました。広くなった店内は、よりお買物がしやすくなりました。地元広島産を中心に瀬戸内にちなんだ商品を幅広く取り揃え、観光客をはじめ広島駅を利用する方々にも好評をいただいています。また、アバンセオリジナルギフトの売れ行きも好調で、地方発送も承っています。瀬戸内の魅力がギュッと詰まった店内でお買い物をお楽しみください。



株式会社 ゆめマート熊本

これからも地域の皆さまと一緒に取り組んでいきます

4月の開催に続き2回目として7月28日～30日の3日間、ゆめマート菊陽にて菊陽町の逸品を集めたイベントを開催しました。菊陽町で頑張っている生産者と菊陽町を盛り上げていきたいという思いから熊本銀行と町が協力し開催に至りました。食品メーカーや農園など11社の62品目を販売し前回同様にも多くのお客さまにご好評をいただきました。ゆめマート熊本は今後も地域密着というキーワードを大切に地域とお客さまへ貢献し続けます。



株式会社 ゆめカード

ゆめタウン飯塚 ゆめカードカウンター誕生

ゆめタウン飯塚に19店舗目のゆめカードカウンターが誕生しました。飯塚山笠をモチーフにした店舗限定の「飯塚ゆめか」を発行開始し、5つの地区（流：ながれ）カラーを表現したデザインが好評で、地元のお客さまに喜んでいただいています。ゆめカードの利便性を伝え、お客さまにお得な体験をお届けします。筑豊地区のさらなるドミナント戦略へ、ゆめカードの普及とキャッシュレス決済の認知を広げていきます。



飯塚ゆめか

2024年2月期 第2四半期 [連結] 決算概況

■ 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 2023.2.28	当第2四半期末 2023.8.31
(資産の部)		
流動資産	100,067	100,379
固定資産	378,474	386,433
有形固定資産	328,209	336,614
無形固定資産	11,831	11,560
投資その他の資産	38,433	38,257
資産合計	478,541	486,812 1
(負債の部)		
流動負債	107,064	112,958
固定負債	93,372	87,760
負債合計	200,437	200,719 2
(純資産の部)		
株主資本	263,329	270,717
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,753	22,753
利益剰余金	221,682	228,974
自己株式	△ 720	△ 625
その他の包括利益累計額	1,706	2,126
非支配株主持分	13,068	13,249
純資産合計	278,104	286,093 3
負債純資産合計	478,541	486,812

1 総資産

4,868億円 [前期末比82億円増加]

- ・当第2四半期の設備投資額は17,049百万円であり、これは主に店舗新設に係る投資、既存店舗の活性化及びDX投資等によるものです。有形固定資産は、減価償却実施後で8,404百万円増加しました。
- ・受取手形、売掛金及び契約資産は、クレジット取扱高の増加等により4,519百万円増加しました。
- ・その他流動資産は、未収入金の減少等により4,669百万円減少しました。

2 負債

2,007億円 [前期末比2億円増加]

- ・未払金は、店舗新設に係る設備未払金の増加等により9,094百万円増加しました。
- ・支払手形及び買掛金は、仕入単価の上昇等により3,753百万円増加しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、12,224百万円減少しました。

3 純資産

2,860億円 [前期末比79億円増加]

- ・利益剰余金は、内部留保の上積みにより7,292百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は56.0%となり、前期末の55.4%に比べて0.6ポイント上昇しました。

■ 損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2022.3.1～ 2022.8.31	当第2四半期 2023.3.1～ 2023.8.31
営業収益	224,061	233,320 4
売上高	197,984	205,627
売上総利益	66,130	69,414
営業収入	26,076	27,693
営業総利益	92,207	97,107
販売費及び一般管理費	76,512	81,589
営業利益	15,694	15,518
経常利益	15,907	15,812 5
税金等調整前四半期純利益	15,964	15,671
法人税等合計	5,159	5,089
四半期純利益	10,805	10,581
非支配株主に帰属する四半期純利益	170	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,634	10,460 6

■ [連結] キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 2022.3.1～ 2022.8.31	当第2四半期 2023.3.1～ 2023.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,625	20,970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,788	△ 7,171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,787	△ 15,405
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 1,950	△ 1,606
現金及び現金同等物の期首残高	11,621	10,331
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,671	8,724

4 営業収益

2,333億円 [前年同期比 104.1%]

- ・営業収益は前年同期比9,259百万円(4.1%)増加し、233,320百万円となりました。これは、主に新型コロナウイルス感染症の「5類感染症」への移行に伴い、消費抑制意識の緩和がみられ、大型商業施設の来店客数が増加したこと等によるものです。
- ・売上総利益は、69,414百万円(前年同期比3,283百万円増)となりました。営業収益対比では29.8%と前年同期に比べて0.3ポイント上昇しました。
- ・販売費及び一般管理費については、主に人件費及び水道光熱費が増加したことにより、前年同期比5,077百万円(6.6%)増加の81,589百万円となりました。営業収益対比では35.0%となり前年同期に比べて0.9ポイント上昇しました。
- ・これらの結果、営業利益は前年同期比176百万円(1.1%)減少の15,518百万円となり、営業収益対比は6.7%と前年同期に比べて0.3ポイント低下しました。

5 経常利益

158億円 [前年同期比 99.4%]

- ・営業外収益は、前年同期比39百万円(6.0%)減少の610百万円となりました。一方、営業外費用は、支払利息の減少などにより、前年同期比120百万円(27.5%)減少の316百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前年同期比95百万円(0.6%)減少の15,812百万円となりました。営業収益対比は6.8%と前年同期に比べて0.3ポイント低下しました。

6 親会社株主に帰属する四半期純利益

104.6億円 [前年同期比 98.4%]

- ・法人税等は5,089百万円となりました(前年同期比70百万円の減少)。
- ・非支配株主に帰属する四半期純利益は121百万円となりました(前年同期比49百万円の減少)。
- ・これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比174百万円(1.6%)減少の10,460百万円となりました。営業収益対比は4.5%と前年同期に比べて0.2ポイント低下しました。

■ 会社概要

(2023年8月31日現在)

設立年月日 1961年10月27日
 本社所在地 広島市東区二葉の里三丁目3番1号
 TEL 082-264-3211(代)
 資本金 19,613,856,196円
 従業員数(連結) 正社員 4,477名
 パートタイマー 11,158名(1日8時間換算)

店舗数(連結) 191店舗*(GMS・SC 63店舗、NSC 4店舗、SM 118店舗*、その他 6店舗)

中国エリア:93店舗
 GMS・SC 37店舗 NSC 2店舗 SM 52店舗* その他 2店舗

九州エリア:84店舗
 GMS・SC 20店舗 NSC 2店舗 SM 60店舗 その他 2店舗

四国エリア:10店舗
 GMS・SC 4店舗 SM 6店舗

その他のエリア:4店舗
 GMS・SC 2店舗 その他 2店舗

※(株)ユアーズのゆめタウン廿日市への出店が含まれます。

■ 役員一覧

(2023年8月31日現在)

代表取締役社長	山西 泰明
取締役副社長	三家本 達也
取締役副社長	町田 繁樹
取締役	黒本 寛
取締役	山西 大輔
社外取締役	西川 正洋
社外取締役	米田 邦彦
社外取締役	青山 直美
常勤監査役	久永 英明
社外監査役	堀川 智子
社外監査役	岡田 弘隆

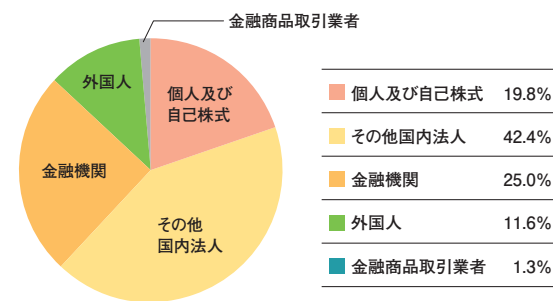
専務執行役員	梶原 雄一郎
上席執行役員	溝口 晋
上席執行役員	阿部 睦夫
執行役員	岡本 圭史
執行役員	沼本 真輔
執行役員	河崎 智広
執行役員	山野 正道
執行役員	小林 篤志
執行役員	松重 健
執行役員	柳井 忠利
執行役員	平 公成
執行役員	廣瀬 伸作
執行役員	宮次 太功

■ 株式の状況

(2023年8月31日現在)

発行可能株式総数 195,243,000株
 発行済株式の総数 71,665,200株
 株主数 14,250名
 1単元の株式数 100株

単元株式の所有状況



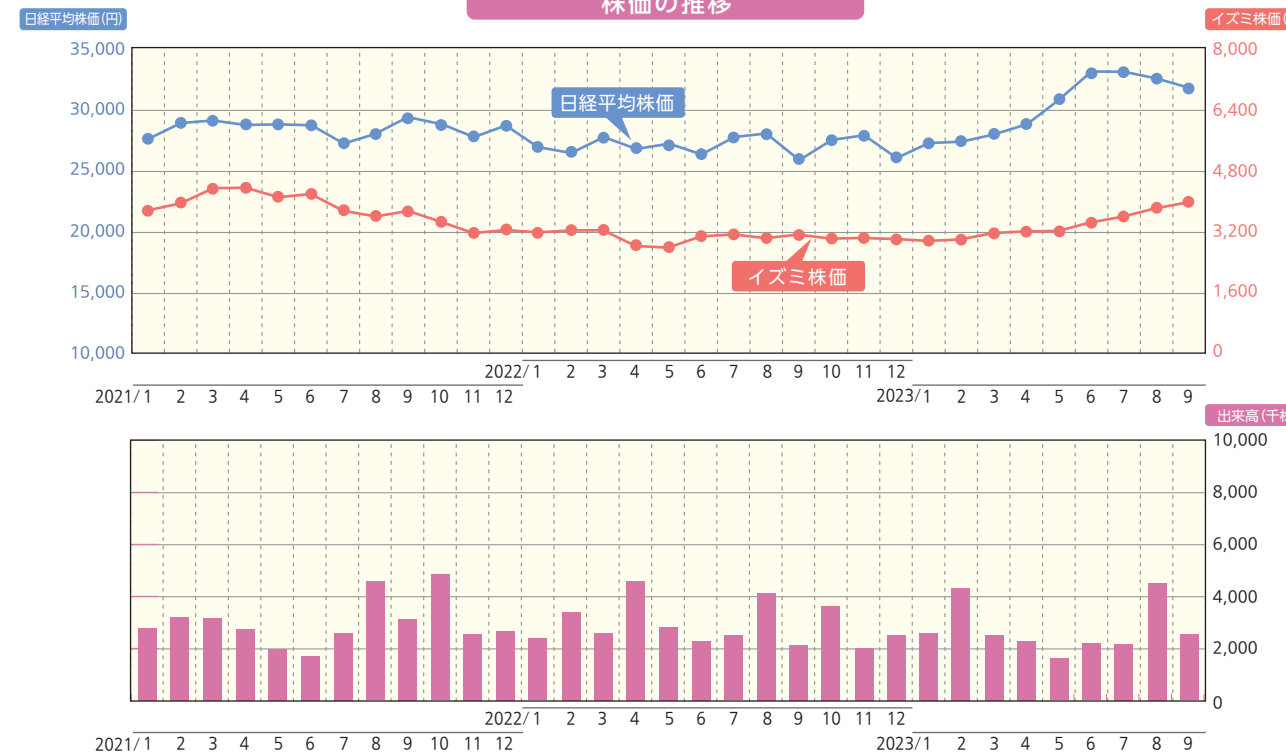
■ 大株主の状況

(2023年8月31日現在)

株主名	持株数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	27.9%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	4,686千株	6.6%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
(株)日本カストディ銀行(信託口)	3,327千株	4.7%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
全国共済農業協同組合連合会	2,074千株	2.9%
山西 泰明	2,053千株	2.9%
イズミ広島共栄会	2,036千株	2.9%
第一生命保険(株)	1,696千株	2.4%

(注)持株比率は、自己株式(146,769株)を控除して計算しています。

株価の推移



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告方法	電子公告 (やむを得ない事由のある場合 日本経済新聞)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎ 0120-782-031
[WEB照会先]	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、左記電話番号先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフト券
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末日時点で300株以上保有の株主様に、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフト券」のいずれかを年1回贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフト券※2
	現行制度に株主優待券をお選びの株主様	現行制度にギフト券をお選びの株主様
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1 「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、ゆめシティ、LECTの各店舗、(株)ユアーズ、(株)デイリーマート、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2 「ギフト券」は全国でご利用いただける三菱UFJニコスギフトカードを贈呈いたします。

泉美術館ご招待券の贈呈

2023年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)

年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

■ 住所

〒733-0833

広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階

TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <https://izumi-museum.jp/>